

## ナラ枯れから森林を守るために

### ペットボトルトラップ法導入と中間報告

大山寺へ向かう県道や町道沿いに、左の写真のようなものが木にたくさんくくりつけられているのを見たことはありませんでしょうか？

これは「ペットボトルトラップ」というもので、近年、町内で深刻な被害を及ぼしているナラ枯れの原因となるカシノナガキクイムシ（以下、カシナガ）を捕獲するワナです。半透明な漏斗が25個連なり、最後尾にエタノールが入ったペットボトルを接続しています。

エタノールの匂いに誘引されたカシナガは樹木に穿入する



るために、旋回しながら取り付くのですが、目が悪いため半透明の漏斗が見えずに、これに衝突し、漏斗内を転がり落ちて、エタノールに入ったペットボトルに捕獲されるしくみです。

このワナを今年の5月下旬から、約400本のコナラやミズナラの木に、約1200基設置してカシナガの捕獲を行っています。

【成果】  
6月初旬から7月中旬にかけて、毎週1回、ペットボトルを回収して、捕獲されたカシナガを計測する作業を行いました。



ました。

その結果、約150万匹のカシナガを捕獲することができました。カシナガ約1000匹で一本の樹木を枯らせてしまうとされているので、約1500本のナラ枯れを防ぐ効果が出たと言えます。

### 【お願い】

当該事業は9月末まで継続する計画です。台風や大雨などでワナが壊れてしまうことも予想されます。もし、そのようなワナを見かけたり、ワナを設置した木やその周りの木が枯れかかっていたりするのに気づかれた場合は、お知らせいただけると助かります。

このワナは農薬や殺虫剤などの劇薬を使わないので、安全で環境に優しく、繰り返し使用できます。今後みなさんのご協力とご理解を得ることによって、さらに効果は高まると思いますので、よろしくお願ひします。

### ◆問い合わせ先

農林水産課

☎0858・58・6116

## 里山のめぐみ ⑥

みなさん、こんにちは。夏も終わり、これから秋に向かって早く涼しくなってほしいですね。

さて、突然ですが、みなさんは、椎茸を普段からどれくらい食べていらっしゃいますでしょうか。

一言で椎茸といっても、生椎茸や乾椎茸があり、育て方によっても原木で育てた原木椎茸、菌床で育てた菌床椎茸があります。

原木椎茸は、森のクヌギやナラなどの広葉樹を切って、持ち運びやすいメートルくらい長の長さに切ってから、椎茸の菌を植えて栽培します。

一方、菌床椎茸は、米ぬかなどを混ぜたオガ粉に椎茸の菌を植えた、菌床というブロックを作って栽培します。

近年、大山町周辺では、カシノナガキクイムシという小さな虫が、年齢の大きなクヌギやナラに入り込むことでナラ菌が増殖し、枯らしてしま

うという被害が広がっています。

この虫は、高齢の木に被害を多くもたらし、若い木には被害がほとんど見られないという特徴があります。

また、広葉樹は、早めに切つて椎茸の原木などに使い、若返らせることで、よく成長する元気な森を作ることができます。

大山の美しい景色には、これらの広葉樹の存在が大きく関わっています。鳥取県は、「きのこ王国」を目指して椎茸栽培も推進しているところです。

これからも大山町の美しい景観であり、椎茸の原木としても使うことのできるクヌギやナラなどの広葉樹の森を育てていきましょう。

### ◆問い合わせ先

鳥取県西部総合事務所

日野振興センター

農林業振興課普及担当

☎0859・72・2018

